



アジサイは盛んに品種改良が行われた結果、約2千種類以上もあると言われています。その花姿だけでなく、アジサイの種類や名称です。

5月も中旬になると暖かく湿った空気が停滞し、雨のシーズンが始まります。憂鬱な気分になってしまいう季節ではありますが、「舞姫」「城ヶ崎」「金平糖」と聞いてピンときた方にとってはそわそわするシーズンなのではないでしょうか。「栞葉」「アナベル」と聞くと何の話かわかる人が増えるかもしれません。そう、アジサイの種類や名称です。

■ もりやま芦刈園 (守山市)

アジサイ観賞 雨の日こそ



世界のアジサイ約1万本は圧巻！＝いずれも守山市杉江町のもりやま芦刈園で

く白や黄緑、青や紫、ピンクから赤系と花色もとても豊か。咲き進むにつれ花色が変化する品種もあり、その多岐にわたる魅力にファンが多いこともうなずけます。今回はそんなアジサイ観賞にお勧めの「もりやま芦刈園」をご紹介します。

同園は琵琶湖南湖の東側、赤野井湾内湖に位置する親水公園で、農村の風景を残しつつ都市との調和が美しい守山市杉江町に位置します。日本と西洋のアジサイ約100品種約1万本が毎年6月ごろに見頃を迎え、多くの来訪者でにぎわ

います。

私がこの公園をお勧めする理由は、その種類の多さだけでなく、株元に添えられたネームプレート。花に疎い私でも名前とともに観賞することで「古風な色合い故かなあ」「確かに美しいそう！」など、花の名に込められた思いを想像し楽しむことができます。

そしてなにより『雨の日に出かけたくなるスポット』なんて他にあるでしょうか。多くの水分を必要とするアジサイにとって梅雨はベストシーズン。地中の水分を吸い上げ色鮮やかに、さらにぬれることで光の反射が遮られ色や形が際立つとのこと。また、土壌の酸性度により色が変わる性質から、時間の経過で色の変化を楽しめることも同



園内の小径 (守山フォトコン2025入賞作品より)

【アクセス情報】JR守山駅から近江バス(杉江循環線)杉江東口下車徒歩20分。車は名神高速道路栗東インターチェンジから20分。車での来場は守山市シルバー人材センターのホームページをご確認ください。(同センター)077(583)2727

園を何度も訪れたくなる魅力の一つではないでしょうか。

雨が降った日にこそ出かけた。そのきれいな花(花のようなものは装飾花で正しくはガク片なのだそう)から滴る雨粒を携え来訪者を待つアジサイを観賞しに、もりやま芦刈園にぜひお越しください！(守山市観光物産協会・佐々木晃子)



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから